

■■メールマガジン「静岡県防災」第5号■■

## 「災害級の大雨を降らせる線状降水帯予測の情報提供が6月から始まります！」

近年、線状降水帯による大雨によって、毎年のように甚大な被害が引き起こされています。

令和4年6月1日（水）から、気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性を予測し、まずは「東海地方」など大まかな地域を対象に半日前からの情報提供を開始します。

これは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表するものであり、線状降水帯が発生すると、大雨による災害発生の危険性が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。

住民の皆さまには、テレビ、ラジオ等のマスメディアを通じて情報が提供されますので、大雨に関する危機感を早めに持ち、ハザードマップや指定緊急避難場所・避難経路の確認、避難準備等を行っていただくようお願いします。

Q 「線状降水帯予測」による情報が提供された場合の大雨の可能性はどれくらいですか？

A 現在の技術では、線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、実際には、線状降水帯が発生しない場合があります。

反対に、「線状降水帯予測」の情報提供がなくても線状降水帯が発生することもあり、あくまで、警戒レベル相当情報を補足するために発表されるものです。

このため、段階的に発表される「防災気象情報」と併せて、避難等の判断にご活用ください。

詳しくはこちら

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2204/28a/senjokousuitaiyosoku20220428.html>